



幸手市議会議員 本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL 0480-43-8988
FAX 0480-77-4347
E-mail
mirai@honda-yoko.com



幸せの手

よりの一般質問報告

— 平成26年第3回幸手市議会 —

① 夜間に使えぬAED、早急に対策を

平成24年12月議会の一般質問において、「夜でも使えるコンビニでのAED設置を」と要望したが、経過は？

答 市内18ヶ所の店舗に設置の確認と設置の協力依頼をしたが、コンビニ本部の方針や設置費用、コンビニ従業員への教育、AEDそのものの管理が難しいなどから、市内には設置していない。24時間身近な施設として有効な方法と考え、引き続き検討していきたい。

幸手市としての夜間の対策は？

答 市内商業施設など民間施設では、幸手駅・スーパースポーツ施設・遊興施設・大規模入浴施設に、夜10時〜12時もしくは、3時まで利用可が8件あった。公共施設では、24時間対応は、警察署や消防署。ウエルス幸手や勤労福祉会館、コミュニケーションセンターでは、10時まで利用可能である。

市内で警察署や消防署を抜かすと、24時間使えるAEDはないということか？

答 ご指摘の通り。

■要望！

☆夜間の命を救うためにも市として早急に検討し、結果を出していただきたい！☆市の公表しているAEDの設置場所一覧が見づらい。幸手市の地図にAEDの場所を落とし、皆さんに知らせていただきたい。

答 早急に出来るよう検討。

■みなさまへ

普通救命講習を是非、受けてください！大切な命を救うには、AEDを使う前に、心肺蘇生の行動が必要で。また、AEDがあっても操作出来なければ話になりません。救える命を見逃すわけにはいきません。3時間の講習は無料です。詳しくは、消防署にお問い合わせください。



② 千塚西公園の管理は

横道に面して設置された自動販売機（公園内3機目）



経緯は？

答 指定管理より新たに2機の設置申請がなされた。

これで安全といえるのか？

答 市の敷地内で、転倒防止の対策がなされていることから設置許可する。

市の対策は？

答 利用する方が車道に立ち危ないと指摘され、設置

③ 青少年育成市民会議のない幸手

10年前、私が社会教育指導員で幸手市青少年育成推進員を担当していた時から、この話は進んでいない。

市としての見解は？

答 青少年育成推進員、青少年問題協議会、子ども110番の家など相互の連携を図っている。各団体の情報交換や連絡調整する場の提供は必要と考え、環境の

業者と協議し、車止めの奥まで後退した。今後、道路に面しての設置の場合、安全対策を一層図っていききたい。（指摘→本田ようこ）

市のチェックは？

答 許可前に現地を見て許可した。

■私は思う

許可前に見ても、「危ない」とは思わなかった職員。設置後は見てなかったのでしょうか。幸手市の中でも指定管理が増えていますが、市民にとってはどうなのでしょう。何かあったら責任は幸手市だからこそ厳しいくらいにチェックは必要です。

ないことで不都合は？

答 青少年問題協議会で各団体の会長や代表を担っている方々が、各団体に戻り協議した内容を共有し、活動に活かしているものと思う。今後相互の連携を図り青少年健全育成に醸成されるようにしていきたい。

④ 市営住宅の 環境整備(除草)は 現状は？

現状は？

答 23年度にA棟の外壁改修工事、24年度にB棟の外壁改修工事、25年度に屋上防水改修工事を行う。必要に応じて修繕工事を行う。また、自治会活動の一環として、除草活動を行っている。ただいている。

これからの対策は？

答 先月8月に除草をやらせていただいた。今後、年3回の負担は厳しいことから、1回は市で除草を行う。

活動報告

★第9回全国市議会議長会研究フォーラムin岡山

8月6、7日の2日間、岡山市の岡山シンフォニーホールで開催された。



基調講演は、増田寛也野村総合研究所顧問・東京大学公共政策大学院客員教授が、「人口減少時代と地方議会のあり方」と題し講演した。対策は①広い意味での少子化対策②東京一極集中対策そして地方議会のあり方として、若者の希望通りに出産・子育てできるように、働く場をつくることを最優先とし、拠点形成をする。選挙で選ばれた議員が真っ先に、真正面から向き合わなければならぬと話した。



★ローカルマニフェスト

埼玉県勉強会

8月22日、浦和市のときわ会館中ホールで開会、参加。基調講演は、北川正恭早稲田大学政治経済学術院教授。議会改革自己診断では、参加最下位でした。北川先生からは、「あなた達から変わるべきだ」と喝を頂く。



北川先生は「マニフェスト」という言葉の生みの親です。マニフェストという約束から成果を出す、実現すること、が、私たち議員の役目です。今回も北川先生や県内の先輩議員のみなさんと繋がる事が出来ました。外に出るから幸手市議会が見えて来ます。最下位は上にあがることしかありません。みなさんに助けてもらいながら、私は私なりに頑張ります。

★幸手市青少年問題協議会傍聴

8月29日、年に一回、市長をはじめ警察署長、教育長、青少年育成推進員代表、PTA連合会会長、子育て支援ネットワーク代表など、青少年に係わる方々が集まる協議会です。それ故に、毎年傍聴させていただいています。

★青少年の非行等の現況

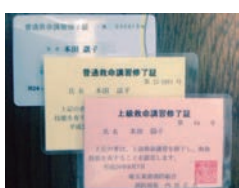
※今年1〜7月までの少年事件(20才未満)↓25名、昨年より14名の減
※補導された少年↓360名、171名の減(4割が夜中遊ぶ、3割がたばこを吸う)こどもの数が減っているのので減少のようです。

★青少年育成推進員の活動

25年度は5回の会議と恒例の学校訪問、非行防止啓発活動・パトロール、そして講演「子どもの安全見守り講座」を開催しました。講演では、インターネットやスマホによる青少年犯罪および被害の多い実態を知り、今後、親向けの講座の必要性を感じる。

★上級救命講習

9月7日、西分署において9〜17時まで受講。



毎年、普通救命講習を受けるようにしていましたが、今年は上級救命講習を受けました。今回も一般質問でAEDに係わっている以上、しっかり身につけて置かなければ話になりません。また、近頃、震源地の近い地震が多く、心配です。備えよ常に！何が起きても、何も出来ない議員だけにはなりたくないと、思い、勉強し、活動しています。